



～新たな一歩を～

校長 三田和弘

令和5年度の天城中学校の教育活動が始まりました。
1年生24人を迎え、全校生徒100人、教職員27人でのスタートとなりました。

6日には始業式、7日には入学式を行いました。入学式での新入生一人一人の呼名では、緊張しながらも大きな声ではっきりとした返事に、中学校生活に対する意欲を感じ、頼もしく思いました。2・3年生も新しい学年へと進み、希望や不安を持ちながら、毎日元気よく登校しています。落ち着いた教育活動が行えますのも、ひとえにご家庭や地域の皆様のご支援によるものです。心より感謝申し上げます。

さて、本校は校訓「克己」のもと、令和5年度の学校教育目標を、『自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒』としました。言い換えますと、生徒一人一人に未来の自分をイメージし、知・徳・体のバランスのとれた人となるよう努力して行ってほしいと考えています。

始業式では、生徒に以下のことを伝えました。



令和5年度が始まります。令和5年度は本校創立53年目。そして、皆さんも承知の通りあと2年で天城中は閉じます。しかし、皆さんの人生や学びはその後も続いていきます。ですから、「あと何回?」と残りを考えるのではなく、50年を超える歴史の中で卒業していった先輩から受け取ったバトンを大切にしながら、天城中らしい、この学校だからできる学びをしていきましょう。

学びと行っても、教科の授業だけではありません。授業はもちろん大切にしたいですが、天城学習、葵流祭、学年や学級の仲間との関わり、縦割活動、部活動、そして進路選択。授業や体験、経験から感じ取れる全てのものが学びだと思います。皆さんの未来のために「新たな一歩」を踏み出す、そんな1年にしたいと考えています。

新たな一歩を踏み出すために、皆さんに伝えたいことがあります。それは、「志をもつ」ということです。「志」とは、中学校卒業後も見通した目的や目標のことです。3年生は2年間、2年生は1年間、天城中で育んできた志を、勉強や運動、行事や部活動、個人の努力と友だちとの協力など、学校生活を通して、さらに大きくしていきましょう。

これから1年間、新たな一歩を踏み出すことで、自分の将来への扉が開くことがあります。次は何に挑戦しようかとワクワクしながら、そして笑顔を忘れずに、自分の明日に向けて日々の学習や学校生活を送ってほしいです。生徒とともに、私たち教職員一同も心をつなげて精一杯取り組んで参ります。

保護者の皆様や地域の皆様にも、学校の教育活動の面で様々なご理解やご協力をお願いすることと思いますが、1年間よろしくお願ひいたします。